

## 高崎 勉

1967年富山市生まれ。Abox Photo Academy 代表。1987年東京工芸大学短期大学部写真技術科卒業。アマナコーポレーションにてフォトグラファーとして12年間の勤務を経て、1999年高崎写真事務所設立。以降、広告撮影と並行しアーティストとして作品制作にも意欲的に活動。2014年写真講座「TakasakiSeminar」開講。2017年10月「Abox Photo Academy」に組織変更、塾長に就任。「商品撮影講座」「アートフォト講座」を担当。

作品紹介Webサイト

<http://www.t-tak.jp/>



A handwritten signature in black ink that reads "T. Takasaki".

## Anti-social Distance (非社会的な距離) 20:41 May 12th 2020

騒動の渦中、家路に就いていた僕はマスクを忘れたことに気づいた。通り過ぎていく人の姿はまばらだが、誰もが冷ややかな視線を向けてくる。Social Distanceを取ることに慣れた頃だったが、他者との心理的な距離まで剥奪されたような感覚。

実は2011年の東日本大震災の時にも似たような経験した。都会から遠く離れた故郷に帰る道すがら「放射能を浴びた車だ」と非難されたのだ。目に見えないものへの恐怖以上に自分を脅かすのは人間なのかもしれないと思った。

その時の感覚が蘇り、僕は社会の外へ放り出されたような不安に襲われ、交差点で暫く立ち尽くしてしまった。信号の赤と青の光が、通り過ぎてゆく車のヘッドライトと交わり、僕とすれ違う人を照らし出す。そしてメタリックのビルの壁に投影されたその影には、明らかに非社会的な距離が映し出された。その間合いを一步ずつ詰めていくかのように、僕は青になった横断歩道をゆっくりと歩き始めた。

高崎 勉